

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千六百九十六號

昭和十九年五月二十三日(火)

海軍大臣官房

○通牒

官房機密第三四二號

昭和十九年五月二十二日

海軍省 副官

内令提
要登載

關係各廳長殿

内令提要別冊(定員關係)ノ制定配付ニ

關スル件申改正ノ件通牒

官房機密第七六號申進首題ノ件中「海軍施設本部」ノ

下ニ「海軍電波本部」ヲ、「各防備隊」ノ下ニ「各

潜水艦基地隊」ヲ加ヘラレ候

○辭令

○昭和十九年五月十日

情報局屬 中野 美松

任海軍屬兼海軍書記

給六級俸

(各通)

任海軍書記

給三級俸

任海軍書記

給四級俸

任海軍書記

給六級俸

任海軍書記

給月俸七拾圓

任海軍書記

給七級俸

(各通)

任海軍書記

給月俸六拾圓

小野寺喜代見
赤間 勝雄

中村 武夫

重山 鶴一

山口 賢二

矢田 保

青田 農夫雄
鈴木 進

海軍公報(部内限) 第四千六百九十六號

昭和十九年五月二十三日

七五五

2167

任海軍書記

長谷川 重光

給八級俸

裁判所書記 川 尻 清

任海軍録事

海軍監獄看守 野口 尙武

給六級俸

任海軍監獄看守長
給五級俸

(各通)

任海軍技手

給三級俸

(各通)

任海軍技手

東京都技手

石原 武夫
稻岡 久夫
西岡 由春
福地 嘉次郎
吉田 清美

給四級俸

(各通)

任海軍技手
給五級俸

氣象技手

坂井 明
松本 繁夫
廣庭 忠
小田 弘志
筒井 庄爾
熊谷 秀雄
佐野 護

(各通)

任海軍技手
給六級俸

入杉 源次郎
岡本 真一
横山 忠
松岡 久生
岸本 隆夫
北條 定
石崎 美代夫
難波 朝男

| | | |
|-----------------|---------|-----------------|
| 任海軍技手 給月俸七拾圓 | (各通) | 塩川 敏昂 田村 久男 |
| 任海軍技手 任七級俸 | | 伊東 幸一 |
| 海軍大臣官房附ヲ命ス | 海軍屬 | 中野 美松 |
| (各通) | 海軍書記 | 小野寺喜代見 赤間 勝雄 |
| 横須賀鎮守府附ヲ命ス | 同 | 中村 武夫 |
| 水路部附ヲ命ス | 同 | 重山 鶴一 |
| 佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス | 同 | 中野 美松 |
| 海軍艦政本部附ヲ命ス | 同 | 山口 賢二 |
| 海軍航空本部附ヲ命ス | 同 | |
| (各通) | 同 | 矢田 保 |
| 第二百二海軍施設部附ヲ命ス | 同 | 青田 農夫雄 |
| 横須賀海軍軍需部附ヲ命ス | 同 | 鈴木 進 |
| 第二十五海軍建設部附ヲ命ス | 同 | 長谷川 重光 |
| 佐世保鎮守府軍法會議附ヲ命ス | 海軍錄事 | 川尻 清 |
| 第二百二海軍刑務所附ヲ命ス | 海軍監獄看守長 | 野口 尙武 |
| 第一海軍航空廠附ヲ命ス | 海軍技手 | 古池 繁好 |
| 佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス | 同 | 橋本 長之助 |
| 高雄海軍施設部勤務ヲ命ス | 同 | 松井 春義 |
| 第二海軍工作部附ヲ命ス | 同 | 川本 愛藏 |
| 佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス | 同 | 岩崎 仙太郎 |

海軍公報(部内限) 第四千六百九十六號

昭和十九年五月二十三日

七五七

| | | |
|-------------------------------------|------|--------|
| 海軍艦政本部附ヲ命ス | 海軍技手 | 吉田 清美 |
| (各通) | 同 | 福地 嘉次郎 |
| 佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス | 同 | 西岡 由春 |
| 第一百一海軍工作部附ヲ命ス | 同 | 稻岡 久夫 |
| 吳海軍施設部勤務ヲ命ス | 同 | 石原 武夫 |
| 第十一海軍航空廠附ヲ命ス | 同 | 坂井 明 |
| 第四海軍工作部附ヲ命ス | 同 | 松本 繁夫 |
| 高雄海軍施設部勤務ヲ命ス | 同 | 廣庭 忠 |
| 海南海軍工作部附ヲ命ス | 同 | 小田 弘志 |
| 吳海軍工廠勤務ヲ命ス | 同 | 筒井 庄爾 |
| 第三海軍燃料廠附ヲ命ス | 同 | 熊谷 秀雄 |
| 第二氣象隊附ヲ命ス | 同 | 佐野 護 |
| 佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス | 同 | 入杉 源次郎 |
| 第十一海軍航空廠附ヲ命ス | 同 | 岡本 真一 |
| (各通) | 同 | 横山 忠 |
| 佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス | 同 | 松岡 久生 |
| 吳海軍工廠勤務ヲ命ス | 同 | 岸本 隆夫 |
| (各通) | 同 | 北條 定 |
| 第十一海軍航空廠附ヲ命ス | 同 | 石崎 美代夫 |
| (各通) | 同 | 難波 朝男 |
| 第二十五海軍建設部附ヲ命ス | 同 | 塩川 敏昂 |
| 第二十四海軍建設部附ヲ命ス(以上 ^{以上} 海軍省) | 同 | 田村 久男 |
| | | 伊東 幸一 |

○ 雜 款

吳海軍經理部 員海軍主計大尉 太田 俊輔
 吳海軍經理部別府支部艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス
 海軍主計大尉 依田 實
 帝洋丸ヲ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經
 費分任出納官吏ヲ命ス(以上ノ中支用官 海軍省經
 理局長)
 海軍主計大尉 若 林 潤
 第四海軍施設部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ
 爲艦隊給費分任出納官吏ヲ命ス
 同 佐藤 政行
 右同分任出納官吏ヲ免ス
 同 大原 徹夫
 驅逐艦清霜ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦
 隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス
 海軍主計中尉 入江 貞夫
 第九〇一海軍航空隊派遣隊ニ要スル給與及其ノ他ノ
 經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(以
 上ノ中同)

○赴任轉勤旅費ノ件
 本分校ヘノ轉勤者ハ柳井驛下車同驛ヨリ分校マデ陸路
 十軒ナリ(乗合自動車ノ便アリ)最近轉勤者ニ對シ柳
 井驛マデ前金拂ヲナス尙尠カラザル處今後前金拂ヲナ
 ス際ハ柳井一田名間車馬賃ヲ算入ノコトニ取計相成度
 追テ柳井驛ノ隣接ニ柳井港驛アリ往々ニシテ柳井驛
 ト誤解シ下車セル例尠カラズ特ニ留意相成度爲念
 山口縣熊毛郡佐賀村字田名
 (海軍潛水學校分校)

○開隊
 名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊ハ五月十五日愛知縣碧海
 郡矢作町大字北野ニ開隊セリ

○轉勤者旅行順路
 省線岡崎驛下車一名古屋線明大寺驛下車一東岡崎驛
 ニテ名鐵豊橋線乗換一同線宇頭驛下車(約四、一軒
 徒歩四十五分)
 (名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊)

○事務開始
 伊號第三百六十三潛水艦艦裝具事務所ハ五月十五日吳
 海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ
 (電話番號准士官以上事務室吳工廠 三〇〇八番)

第三〇一設營隊ハ五月十五日神奈川縣藤澤市横須賀海

軍施設部設營班桑原部隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○梅艦裝員事務所ハ五月十六日大阪市住吉區柴谷四四藤永田造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ
(電話藤永田造船所 二六五番)

○事務所撤去

名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊(假稱)設立準備事務所ハ五月十五日之ヲ撤去セリ

追テ分遣隊ヘノ轉勤者ハ直接左ニ依リ赴任セシメラレ度

名古屋方面ヨリノ場合

省線岡崎驛下車—名古屋鐵道岡崎線乘換明大寺驛下車—東岡崎驛ニテ名古屋鐵道豐橋線乘換—同線矢作橋下車(約四、八分 徒歩五十分)

東京横須賀方面ヨリノ場合

東海道線豐橋驛下車—名古屋鐵道豐橋線ニ乘換—同線矢作橋驛下車(約四、八分 徒歩五十分)
(名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊)

第二一五設營隊事務所ハ五月十七日之ヲ撤去セリ

○訂正

三月十八日海軍公報(部内限) 第四千六百四十號辭令欄中海軍主計大尉唐崎匡一、同宮澤鐵藏ノ辭令月日、二月十五日トアルヲ二月二十四日ニ訂正ス

○取消

三月二十五日附海軍公報(部内限) 辭令欄四〇七頁上段十九行目「中村 進」ノ、五月十日同辭令欄六七五頁上段四行目趣前正作ノ、五月十日同辭令欄外六頁十三行目及十五頁五行目與嶋 實ノ辭令文ハ孰モ取消

○正誤

三月三十一日附海軍公報(部内限) 號外十頁三段目菊池龍文ハ菊地龍文ノ誤ニ付訂正

○本日暗送公報第十八號發行ス

海軍公報

(部内限) 第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房經機密第六七一號

艦船部隊殘務整理班ニ於ケル會計殘務整理規程中左ノ
通改正ス

昭和十九年五月二十二日

海 軍 大 臣

第二條中「海軍計算證明等戰時特例第六條」ヲ「戰時
海軍計算證明規程第十三條」ニ改ム

官房需第一四〇號

昭和十八年官房需第二五七號第三中「昭和十六年官房
機密第九三二六號中」ヲ「海軍給與令施行細則中」ニ
改ム

昭和十九年五月二十三日

海 軍 大 臣

(參照) 昭和十八年官房需第二五七號ハ臨時特例ニ依リ採用セラレ
タル豫備生徒ノ被服定數等ノ件(機密會計法規八九頁)

海軍公報(部内限) 第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日

七六一

官房需第一四一號

當分ノ間海軍給與令施行細則中被服物品ノ交付、貸與
其ノ他ノ特例ニ關シ左ノ通定ム

昭和十九年五月二十三日

海 軍 大 臣

一 交付又ハ貸與ノ特例

(イ) 第七表ノ二及第八表ノ規定ニ依リ軍樂兵曹及軍
樂兵ニ交付スル禮衣袴、前立及カフスハ之ヲ交付
セズ

(ロ) 第八表ノ規定ニ依リ新兵ニ入團(隊)時交付ス
ル半靴二組ノ中一組ハ新兵教育期間終了迄之ヲ交
付セズ

(ハ) 第八表ノ三ノ規定ニ依リ生徒ニ交付スル禮衣袴
ハ之ヲ交付セズ

(ニ) 第十四表ノ規定ニ依リ下士官及兵其ノ他ニ貸與
スルモノノ中

- (一) 禮服用臂章ハ之ヲ貸與セズ
- (二) 防暑被服ノ中防暑服乙ハ之ヲ貸與セズ

- (ホ) 第十五表ノ規定ニ依リ患者ニ貸與スルモノノ中綿入長白衣、帽及足袋ハ之ヲ貸與セズ
- (ヘ) 第十六表ノ規定ニ依リ在監人ニ貸與スルモノノ中綿入長白衣ハ之ヲ貸與セズ

二 交換期限ノ特例

第十一表ノ規定ニ依ル交換期限ノ中

- (イ) 交換期限アル被服物品ニシテ事變地ニ在ル下士官及兵ニ交付ノモノハ交換期限經過後ト雖モ尙使用ニ堪ルモノハ之ヲ無期トス
- (ロ) 事變地外ニ在ル下士官及兵ニシテ防著服ノ貸與ヲ受クルモノノ夏襦袢ノ交換期限ハ(イ)項ニ準ズ
- (ハ) 服役延期ノ期間ヲ定メラレズシテ服役ヲ延期セラレタル下士官及兵ノ被服物品ハ第十一表備考第五號ノ規定ニ拘ラズ交付交換スルモノトス
- (ニ) 半靴ノ交換期限ハ海上ニ勤務スル者以外ノモノニ在リテモ交換期限經過後之ヲ無期トス

三 品質、製式ノ特例

第十七表ニ規定ノ品質、製式ノ中

- (イ) 軍衣、軍袴、夏袴及外套ノ腰廻リ裏及裏ニハ生厚木綿ニ代ヘ他ノ布ヲ使用スルコトヲ得
- (ロ) 軍樂兵曹及軍樂兵ニ交付スル軍衣及軍袴ノ表地

- 二號羅紗ハ之ヲ厚セルジトス
- (ハ) 生徒ニ交付スル軍衣及軍袴ノ表地ハ紺サージ製一種トス
- (ニ) 生徒、豫備學生及豫備生徒ニ交付スル夏襦袢及夏袴下ノ地質ハ晒薄綾木綿製一種トス

附則

昭和十五年官房第五六四九號、昭和十六年官房第一九一八號、官房機密第九三二六號、昭和十七年官房第七五六七號及昭和十八年官房需第二〇四號ハ之ヲ廢止ス

(參照)

昭和十五年官房第五六四九號ハ被服交換期限特例ノ件(會計法規二卷八〇八ノ二九頁)
 昭和十六年官房第一九一八號ハ軍樂科下士官兵ニ禮衣袴、前立、禮服用袴等ヲ交付又ハ貸與セザル件(衣糧例規四一二頁)
 同年官房機密第九三二六號ハ生徒、豫備學生ノ被服定數等ノ件(機密會計法規八五頁)
 昭和十七年官房第七五六七號ハ生徒ニ禮衣袴ヲ交付停止ノ件(昭和十七年十二月十六日海軍公報(部内限))
 昭和十八年官房需第二〇四號ハ新兵ニ教育終了時迄半靴一組ヲ交付セザル件(會計法規二卷二五二ノ二頁)

官房需機密第一七八號
 海軍軍需部長ハ大東亞戰爭中主計長主管艦營需品備品食器碗ヲ艦船部隊ノ下士官及兵ニ供給スルコトヲ得

之ガ整理手續ニ關シテハ海軍省軍需局長ヲシテ通牒セシム

昭和十九年五月二十三日

海軍大臣

官房需機密第一八〇號

昭和十八年官房需機密第三〇九號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十三日

海軍大臣

別表中雨衣ノ項ヲ左ノ如ク改ム

| | | | | |
|-------------|---|---|---|---|
| 略 衣 袴 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 略 帽 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 雨 衣 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 夏 袴 下 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 帶 皮 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 靴 下 | 六 | 六 | 六 | 六 |

同表中夏袴下、帶皮及靴下ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改ム

同表中臂章ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

| | | | | |
|--------|---|---|---|---|
| 手 拭 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| 襪 | 三 | 三 | 三 | 三 |

附則

帶皮、襪及手拭ノ定數ハ其ノ交付ヲ受ケタル者ニ付適用ス

(參照) 昭和十八年官房需機密第三〇九號ハ出征艦部隊ノ下士官及兵ノ被服物品定數、還納等ノ件(機密會計法規一三〇ノ四七頁)

○通牒

官房備第八七號

昭和十九年五月二十三日

海軍次官事務取扱

關係各廳長殿

不用暗幕ノ撤去等ニ關スル件通牒

纖維資源逼迫ノ折柄各廳備付暗幕(通常物品)ノ中分散格納倉庫其ノ他夜間ハ殆ンド使用ノ見込ナキ建物等ニ備付アルモノハ速ニ撤去ノ上之ヲ下士官及兵用被服材料ニ活用セシムルコトトシ左記ニ保管轉換ノ手續ヲ

海軍公報(部内限)第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日

七六三

爲スト共ニ現品送付相成度
尙自今暗幕ハ夜間使用見込ナキ建物ニハ之ヲ備付ケザ
ルコトニセラレ度

記

東京都品川區大井南濱川町埋立地

第一海軍衣糧廠 通常物品會計官吏宛

軍需二機密第五三〇號

昭和十九年五月二十二日

海軍省軍務局長
海軍省軍需局長

關係各廳長殿

二號重油供給ニ關スル件申進

昭和十七年軍需機密燃第三七〇號ヲ以テ艦船主機械用
ニハ新二號重油ヲ供給スルコト、相成居候處燃料ノ需
給極度ニ逼迫セル現狀ニ鑑ミ自今二號重油ヲモ供給シ
得ルコトニ定メラレ候

海人三機密第二號ノ一六

昭和十九年五月二十三日

海軍省人事局長
海軍省教育局長

内今提
要登載

關係各廳長殿

充員召集中ノ補充兵及國民兵ニ對スル人
事取扱等ニ關スル件申進

首題ノ件申進ノ通改正セラレ候

追テ昭和十七年海人第一號ノ三四二ハ自然消滅ノ義
ト了知相成度

記

第四號中「特ニ教育實施ニ關シ所見アル向ハ之ヲ所屬
長官ニ提出スルト共ニ各一通ヲ本人在籍ノ鎮守府司令
長官、海軍省教育局長及海軍省人事局長ニ送付スルモ
ノトス」ヲ「教育實施又ハ人事取扱ニ關シ格別ノ所見
(修業成績表ノ添付ヲ要セズ)アル場合ニ限り所屬長
官及本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ之ヲ提出又ハ送付ス
ルモノトス」ニ改ム

第八號(イ)中「當分ノ間調製セズ」ヲ「下士官、特修兵
又ハ特技兵ト爲リタル者ハ其ノ際當該所轄長之ヲ調製
シ其ノ他ノ者ニ在リテハ調製ヲ要セズ」ニ改ム

(參照) 内令提要卷二、五〇頁

諸例則卷三、二六八ノ二頁

軍需機密第三一〇號

昭和十九年五月二十日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

艦營需品食器碗ヲ携行物件ニ指定供給ノ
件通牒

官房需機密第一七八號ヲ以テ訓令相成候首題物品ハ自
今下士官及兵ノ携行物件ニ指定シ左記ニ依リ供給ノコ
トニ定メラレ候

記

- 一 取扱主任ハ食器碗大中小各一個ヲ下士官及兵ニ携
行物件トシテ之ヲ供給シ被服物品交付表適宜ノ空欄
ニ供給年月日ヲ記入シ其ノ數量ヲ拂出整理ノ上所管
又ハ所屬ノ兵備品會計官吏ニ通報スルモノトス
- 前項ニ依ル整理ニ關シテハ海軍給與令施行細則第百
七條ニ依ル交付證ノ書式ヲ準用ス
- 兵備品會計官吏ハ前項ノ報告ニ依リ消耗拂整理スル
モノトス
- 二 材質ハ「アルミニウム」又ハ珪瑯製トシ己ムヲ得
ザレバ一時其ノ他ノ材質ノモノヲ以テ充ツルコトヲ
得
- 三 各廳ニ於テハ豫備定數トシテ下士官及兵定員ノ一
割ヲ限度トシ外地ニ在リテハ「アルミニウム」製又

- 花瓶(金屬製)、机掛乙(將官公室及所轄長公室儀禮
用ヲ除ク)、腰掛蒲團覆(將官公室用ヲ除ク)、椅子
覆甲(將官公室用ヲ除ク)、同乙(將官公室用ヲ除ク)
匙小(金屬製ノミ以下此ノ種ノモノ同斷)、ナイフ小
フオーグ小、菓子果物鉢、バターナイフ、紅茶コーヒ
ー瓶小、砂糖壺小、砂糖挾、牛乳壺大、小、塩匙、セ
ルビエツト、セルビエツト輪、アイスクリーム匙、
配食皿、桿秤三〇〇匙、六匙、二匙、台秤五〇匙、五〇〇匙、
一〇〇〇匙、提鞵小、法令全書、果物ナイフ、果物フ
ォーク、魚ナイフ、魚フォーク大、小、魚取分、牡蠣
フォーク、肉取分、肉フォーク、サラダ匙、サラダ
フォーク、野菜匙、ソース匙、胡桃割
- 備考
- 一 本品名中ト雖モ代用品並ニ類似品トシテ供給ノ
モノハ還納スルニ及ハス
- 二 先任旗一巾、四巾、長旗2.5米、艦首旗三巾、當
直旗三巾、軍用船旗四巾、赤十字旗一巾、四巾ハ古旗
布トシテ整理ノ上使用差支ナシ

軍需機密需第三一四號

昭和十九年五月二十三日

- ハ珙瑯製ノモノ、其ノ他ノ地ニ在リテハ陶磁器製、木製、箆製、「ベークライイト」製、壓搾紙製等ノ代替品ヲ保有シ、其ノ他ノ不要額ハ速ニ最寄軍需部ニ還納ノコト
- 四 艦營需品支辨廳以外ヘノ貸與、繰替供給等ノ場合ニハ「アルミニウム」製又ハ珙瑯製ヲ用ヒザルコト
- 五 艦營需品經理規程第十三條ノ規定ニ依ル手續ハ成ルベク速ニ完了ノコト
- 六 本供給手續ハ昭和十九年五月一日以後最初ノ所屬艦團部隊ニ於テ成ルベク速ニ完了スルモノトス
- 七 任用、進級又ハ召集解除等ニ依リ之ガ不用トナリタルトキハ取扱主任ハ現品ニ還納票ヲ添ヘ最寄海軍軍需部（特設海軍軍需部ヲ含ム）ニ還納スルモノトス
- 八 各艦船部隊取扱主任ハ毎年四月、七月、十月、一月ニ於ケル一日現在ヲ以テ供給數等ノ現狀ヲ記載シ成ルベク速ニ艦營需品經理規程第五條ノ規定ニ依ル兵備品會計官吏ニ通報スルモノトス

○ 辭 令

(各通)

兼榆林海軍運輸部附ヲ命ス(五三〇海軍省)

| | | |
|---|--------------|---------|
| 同 | 海南海軍施設部附軍軍技手 | 長谷川 照三 |
| 同 | | 佐々木藤左衛門 |
| 同 | | 植木 民次 |
| 同 | | 入江 寛志 |
| 同 | | 上田 三郎 |

第八海軍施設部附軍軍技手

| | |
|---|--------|
| 同 | 尾畑 保身 |
| 同 | 相良 幸七 |
| 同 | 平岡 恒彦 |
| 同 | 原田 源一郎 |
| 同 | 下村 啓嗣 |
| 同 | 陳 期 暘 |
| 同 | 原田 勝平 |
| 同 | 齋 弘 吉 |
| 同 | 新崎 長吉 |

南東方面艦隊司令部附ヲ命ス(五三〇同)

海軍中佐

| | |
|---|-------|
| 同 | 淺野 以文 |
| 同 | 久保 五郎 |

第二課勤務ヲ命ス(五三〇海軍省人事局)

海軍運輸部事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額百五圓ヲ給シ部内限制任官待遇トス

海軍公報(部内限)第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日

七六七

海軍運輸本部事務囑託ヲ解キマニラ海軍運輸部事務ヲ囑託ス(報制如故)(以上五市海軍運輸本部)

○ 雜 款

○陸運事務分擔ノ件
當部及各支部(出張所)ノ陸運事務分擔左ノ通り定メ
タリ

| | | |
|----------|----------------|--|
| 現住所 | 輸送事務 | 擔任區域 |
| 横須賀海軍運輸部 | 陸運全般 | 静岡縣、長野縣、山梨縣、神奈川縣、東京都、千葉縣、栃木縣、福島縣、群馬縣、埼玉縣、茨城縣、宮城縣、岩手縣、愛知縣、岐阜縣、三重縣 |
| 横濱支部 | 陸上小運送 | 横濱市一圓 |
| 四日市支部 | 鐵道輸送ニ關スル各部ト | 四日市一圓 |
| 霞ヶ浦出張所 | ノ連絡(鐵道輸送計畫ヲ除ク) | 土浦、荒川沖、鹿島方面 |
| 清水出張所 | | 清水市一圓 |

(横須賀海軍運輸部)

○事務所移轉
虎尾海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ハ五月七日臺南州虎尾郡虎尾街ニ移轉セリ

○出張所移轉
佐世保海軍軍需部鹿兒島出張所ハ五月十三日同市堀江町一〇番地(電話 二二二四)ニ移轉セリ

○失官

海軍技術中尉水野正之ハ收賄罪ニ因リ懲役一年六月ニ處スルノ裁判確定シ昭和十九年四月二十一日失官ト爲レリ

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十九年五月二十四日(水)
海軍大臣官房

○令 達

官房人機密第一二二二號

昭和十三年官房機密第三八七四號及昭和十六年官房機密第一一五五九號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年五月二十日

海軍大臣

附令
除提

昭和十三年官房機密第三八七四號ハ召集中ノ海軍豫備員ノ
考課表ニ關スル件ナリ(内令提要卷二、一〇頁參照)
昭和十六年官房機密第一一五五九號ハ下士官兵任用進級試
験特例ノ件ナリ(内令提要卷二、八頁參照)

官房人第五五八號

大東亞戰爭中考課表及任用進級拔擢(候補)名簿取扱
特例左ノ通定ム

本令ニ規定スル以外ノ事項ニ關シテハ各當該規定ニ依ル
昭和十九年五月二十日

海軍大臣

考課表及任用進級拔擢(候補)名簿取扱
特例

第一章 考課表ノ取扱

第一條 定期考課表ハ海軍考課表規則第四條(備考ヲ
除ク)ノ規定ニ拘ラズ左表ニ依リ之ヲ調製シ進達又
ハ移牒スベシ

| 官職階別 | 期日、期限 | 調製期日 | 任用進級候補名簿 調製官ニ進達期限 | 在籍領守府司令長官 ニ進達(移牒)期限 | 海軍大臣ニ進達期限 |
|------|-------|------|----------------------|------------------------|-----------|
| 豫士官 | | 七月一日 | 七月五日 | | 七月二十日 |
| 特務士官 | | 七月一日 | | | |
| 准士官 | | 七月一日 | | | |
| 豫備士官 | | 七月一日 | | | |

海軍公報 (部内限) 號外

| | | |
|------------------|------|-------|
| 下士官 | 七月一日 | 七月十五日 |
| 兵長(下士官任用資格ヲ有スル者) | 七月一日 | 七月十五日 |

一 候補生、見習尉官及豫備員タル少尉候補生ニ對スル考課表ニ付テハ其ノ都度之ヲ定ム

二 作戰行動上所定考課表調製期日ニ調製困難ナルモノハ適宜繰上ゲ之ヲ調製スルコトヲ得

三 任用進級候補名簿調製官ハ作戰其ノ他ノ事由ニ依リ部下士官及豫備士官ノ考課表ヲ査閱スルコト困難ナルトキ又ハ所定期日迄ニ到達セザル虞アルトキハ任用進級拔擢名簿調製官ヲシテ直接海軍大臣ニ進達セシムルコトヲ得

四 一、二等下士官ニシテ進級資格ヲ有セザルモノノ考課表ハ特ニ必要ト認ムルモノノ外之ヲ調製セザルコトヲ得

第二條 考課表調製官ハ被考課官(臨時ニ配員セラレタル者ヲ含ム)ニシテ重要ナル作戰又ハ任務ノ終了時其ノ他ノ場合臨時報告ヲ爲スノ必要アリト認ムルモノアルトキハ遲滞ナク所要事項ノミヲ記註シタル臨時考課表ヲ調製進達スルト共ニ臨時ニ配員セラレタル者ニ在リテハ固有ノ所定考課表調製官ニ其ノ要旨ヲ通知スベシ

作戰部隊ノ指揮官ハ一時其ノ作戰指揮下ニ入りタル職員ニシテ臨時考課表ノ調製ヲ必要ト認メタルモノニ付亦前項ノ規定ニ準ズ

第三條 應長タル被考課官ニ對スル身體検査ハ作戰其ノ他ノ事由ノ爲已ムヲ得ザル場合ニ限り海軍考課表規則第二十三條ノ規定ニ拘ラズ部下軍醫科士官(部下軍醫科士官ヲ置カレザルトキハ最寄ノ軍醫科士官)ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第四條 豫備員ニシテ召集中ノモノニ對スル考課表ハ本令ニ規定スルモノノ外海軍考課表規則ニ準ジ調製、進達又ハ移牒スベシ

第二章 任用進級候補名簿及拔擢名簿ノ取扱

第五條 佐官尉官ノ拔擢名簿及候補名簿並ニ特務士官ノ拔擢名簿ハ海軍武官任用進級取扱規則第四條ノ規定ニ拘ラズ調製進達スルヲ要セズ但シ特ニ拔擢ヲ必要ト認ムル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス
候補名簿調製官又ハ拔擢名簿調製官前項但書ノ規定

ニ該當スル者又ハ任用進級セシメザルヲ適當ト認ムル者アルトキハ適宜ノ様式ニ依リ其ノ事由ヲ詳細ニ記載シ之ヲ具申スベシ
第六條 下士官任用進級拔擢名簿及兵進級決定候補名簿ハ左表ニ依リ之ヲ調製シ進達又ハ移牒スベシ

| 備 | 兵進級決定候補名簿 | 現官職階 | | 勤務日數 | 調製期日 | 在籍(鎮守府司令官進達(移牒)期限) |
|---|-----------|--------|------------------|--------|-------|--------------------|
| | | 下士官 | 兵長(下士官任用資格ヲ有スル者) | | | |
| 一 轉勤者ニシテ拔擢(候補)名簿調製期日迄ニ新所轄ニ到着ノ見込ナキモノアルトキハ前所轄ニ於テ本名簿ニ之ヲ登載シ其ノ旨新所轄長ニ通知(兵ニ在リテハ進級セシムベキ者ト否ラザル者ニ區分ヲ要ス)スルモノトス 前項ノ規定ニ依リ調製スル拔擢(候補)名簿ハ其ノ他ノ者ト別個ニ調製スルコトヲ得 前二項ノ規定ハ轉勤ノ途次假入團(隊)中ノ者ニ付之ヲ準用ス 二 所轄長ハ部下ノ艦船艇ニシテ分離行動ノ爲通信連絡不便ナルモノアルトキハ其ノ首席指揮官ヲシテ部下ノ下士官ニ對スル任用進級拔擢名簿ヲ區分調製シ直接進達セシムルコトヲ得 | 上等兵、一等兵 | 七月三十一日 | 八月二日 | 八月三十一日 | 九月一日 | 八月十五日 |
| | 二月末日 | 三月一日 | 三月十一日 | 三月十一日 | 三月十五日 | 三月十五日 |

考

前項ノ規定ハ通信連絡不便ナル遠隔ノ地ニ派遣セラレタル分遣隊員又ハ基地隊員等ニ付之ヲ準用ス

三 拔擢(候補)名簿調製官ハ作戰其ノ他ノ事由ニ依リ所定ノ期日ニ於テ拔擢(候補)名簿調製困難ナルトキハ速ニ適宜ノ様式ニ依リ任用進級資格ヲ有スト認ムル者及任用進級不適ト認ムル者ノ官職、氏名及入籍番號ヲ記載セル名簿(特修兵ニ非ザル者ニシテ任用進級資格ヲ有スルモノニ在リテハ成ルベク拔擢順序ヲ附記)ヲ調製シ在籍鎮守府司令長官ニ報告スルモノトス

上等兵以下ニ對シ前項ノ手續ヲ爲シタル後進級期日迄ニ他ニ轉出スル者アリタルトキハ其ノ旨轉出先所轄長ニ通知スルト共ニ在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通知スルモノトス

四 兵進級決定候補名簿ハ其ノ寫ヲ進達スルモノトス

第七條 下士官任用進級拔擢名簿及兵進級決定候補名簿ハ現官職任命後勤務日數計算期日迄ニ左ノ勤務日

數ヲ有スル者ニ付之ヲ調製スベシ

| 科 | 科別 | 任用進級セシムベキ官職階及勤務日數 | | | |
|-----------------------------|-------|-------------------|--------|--------|---------|
| | | 上等下士官へ | 一等下士官へ | 二等下士官へ | 兵長へ上等兵へ |
| 水兵科、整備科、機關科、工作科、軍藥科、看護科、主計科 | 掌飛行兵 | 七月 | 七月 | 七月 | 三月八月 |
| | 右以外ノ者 | 七月 | 七月 | 七月 | 三月 |
| 飛行科 | 掌飛行兵 | 二月 | 二月 | 二月 | 三月 |
| 飛行科 | 右以外ノ者 | 七月 | 七月 | 七月 | 三月 |
| 師範學校ヲ卒業シタル應召下士官 | | 二月 | 二月 | 二月 | |

備考

必要ニ應ジ拔擢（候補）名簿ニ登載スベキ者ノ範圍ハ海軍省人事局長ヲシテ之ヲ通牒セシム

第八條 下士官任用進級拔擢名簿ハ第一様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

第九條 兵進級決定候補名簿ハ第二様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

所轄長ハ兵進級決定候補名簿寫ニ進級セシムル者及進級セシメザル者ヲ記入シ之ヲ在籍鎮守府司令長官ニ進達スベシ

兵進級決定候補者ノ員數報告及兵ノ進級報告ハ之ヲ要セズ

第十條 下士官任用進級拔擢名簿又ハ兵進級決定候補名簿ニ登載セザル者ハ第三様式ニ依リ速ニ報告スベシ

第十一條 兵ノ進級標準比率及進級資格ヲ有スルモ進級セシムベカラザル者ノ標準ハ海軍省人事局長ヲシテ別ニ之ヲ通牒セシム

第十二條 所轄長ハ兵進級決定候補名簿ニ登載シタル者ニ對シ前條ノ規定ニ依ル進級標準比率以內ニ於テ進級セシムベキ者ヲ銓衡シ所定進級期日ニ於テ各其ノ上級ニ進級セシムベシ但シ第六條表備考第三號ニ該當スル兵ノ進級ハ在籍鎮守府ノ海軍人事部長之ヲ

行ヒタル上其ノ旨現所轄長ニ通報スルモノトス

第十三條 所轄長ハ兵進級決定候補名簿ニ登載シタル者ニシテ死亡、行方不明其ノ他ノ事由ニ依リ進級セシムベカラザルモノヲ生ジタルトキハ之ヲ當該名簿ヨリ削除スルニ止メ進級範圍ヲ下位ノ者ニ及ボサザルモノトス但シ進級セシムベカリシ者ニシテ其ノ事故止ミタル際進級至當ト認ムルモノアルトキハ所定進級期日ニ遡リ之ヲ進級セシムルコトヲ得

第十四條 所轄長ハ兵進級決定候補名簿寫進達後當該名簿ニ登載シタル者ニ付決定順序ヲ變更シタル等ノ異動ヲ生ジ進級セシムベカラザル者アルトキハ其ノ事由ヲ附シ速ニ在籍鎮守府司令長官ニ報告スルト共ニ既ニ他ニ轉出シタル者ニ對シテハ轉出先所轄長ニ之ヲ通知スベシ

第十五條 所轄長ハ兵進級決定候補名簿ニ登載シタル者ニシテ進級期日迄ニ他ニ轉出スルモノアリタル際ハ様式第四ニ依リ直ニ新所轄長ニ對シ進級セシムベキ者又ハ進級セシメザル者ノ區分ヲ速ニ通知スベシ轉勤ノ途次假入團（隊）セシムル者ニ在リテハ前項ノ

規定ニ依ルノ外其ノ團(隊)ノ長ニ之ヲ通知スベシ
前二項ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル新所轄長又ハ團
(隊)ノ長ハ進級セシムベキ者ニ在リテハ所定ノ進級
期日ニ於テ之ヲ進級セシムベシ但シ進級不適當ト認
ムル者ヲ生ジタルトキハ速ニ在籍鎮守府司令長官ニ
報告スルト共ニ兵進級決定候補名簿ヲ調製シタル所
轄長ニ之ヲ通知スベシ

第十六條 轉勤者ニ對スル拔擢名簿登載濟ノ通知ハ第
六條表備考第一號ニ規定スルモノノ外之ヲ省略シ本
人履歴表ニ處理濟ノ旨附箋シ本人ヲシテ之ヲ携行セ
シムルモノトス

第十七條 下士官及兵ノ任用進級試験ニ關シテハ左ノ
各號ニ依ル

- 一 普通學ノ試験ハ之ヲ施行セズ
- 二 甲種及乙種ノ試験ハ所轄長機宜線上ゲ之ヲ施行
シ又任務行動上其ノ他已ムヲ得ザル場合ハ之ヲ施行
セザルコトヲ得

附則

昭和十七年官房第七八九三號ハ之ヲ廢止ス
下士官任用進級拔擢名簿(様式第一)ハ海軍武官任用
進級取扱規則様式第四(拔擢名簿)ノ用紙ヲ適宜訂

正シ使用スルコトヲ得
(別紙様式四葉添)

○通牒

海人三第二號ノ四四

昭和十九年五月二十日

海軍省人事局長

内令提
要削除

關係各廳長殿

考課表及任用進級關係令達自然消滅ノ件

通知

官房人第五五八號大東亞戰爭中考課表及任用進級拔擢
(候補)名簿取扱特別制定ニ伴ヒ左記通牒ハ自然消滅ノ
義ト了知相成度

記

- 一 昭和十三年海人機密第一號ノ三〇(臨時ニ配員セ
ラレタル士官ノ考課表調製ニ關スル件)
- 二 昭和十七年海人機密第一號ノ四〇〇(臨時考課表
ニ關スル件)
- 三 昭和十四年海人第一號ノ二四(應召中ノ下士官任
用進級拔擢名簿ニ關スル件)

(内令提要卷三、九頁 参照)
諸例則卷二、一八六ノ二頁

様式第一
件名

昭和 年 月 日

(昭和十九年五月二十四日海軍公報(部内限)號外)

在籍鎮守府司令官殿

在籍鎮守府司令官殿
披擢名簿(服役延期者「朱書」)

上等兵曹ヨリ兵曹長ニ進級セシムベキ者(掌砲)

所轄長印

2187

| 2 | 1 | 序順擢抜 |
|-----------|--------------------------|----------------------|
| 2-6-8 | 3-2-21 | 勤務日數 |
| 40 125 | 5 100 | 特種技藝(又ハ特種技藝ノ成績ノ優劣) |
| 20-4 否 | 19-10 可許 | 現再及月年期滿現(可許不)否(可許)望役 |
| 成 | 甲 | 身體 |
| | 潜 0-3-5 | 特種勤務及間期 |
| | 優一 | 優等章等優章 |
| | 段初・劍 | 特種技能 |
| | 「一八二〇・五 離職禁止十日 朱書」 | 現官(職)中ノ |
| 16-10 | 16-5 | 現官(職)及行罰 |
| 14-5 | 13-11 | 現官(職)命任月 |
| 適稍 | 適 | 海軍入籍年・下士官初任日 |
| 何 | 何 | 任用進級所見 |
| 某 | 某 | 氏名 |
| 12345 | 水志佐 16789 | 入籍番號 |

備考

一 左ノ區分ニ依リ各別紙ニ調製ス

イ 各鎮守府別トシ一般現役員以外ハ「服役延期者」等ト朱書ス

官職階別

(ニ)(ハ) 特種兵別(掌飛行兵ハ飛行豫科練習生出身別ニ、掌機兵及掌内火兵ハ各專修別ニ、掌工兵ハ金

屬、木具及築城施設別ニ更ニ區分ス)

(ホ) 特種兵別(各種別毎ニ區分ス) 特種兵ニ非ザル下士官及兵長ニシテ特種運貨船、魚雷艇、戰車又ハ電信術ノ講習ヲ修了シタルモノ

ハ 特種兵ニ準ズ

(ト)(ハ) 特種兵又ハ特種兵ニ非ザル者 一 等下士官以下ニ在リテハ更ニ定員、補缺員、練習生(期別毎トシ卒業豫定期日附記)及講習員

(期別毎トシ修業豫定期日附記)別

二 「海軍入籍、下士官初任又ハ召集年月日」ノ欄ノ記載ハ左ニ依ル

兵長(應召中ノ者ヲ除ク)ニ在リテハ海軍入籍年月日

現役及服役延期中ノ下士官ニ在リテハ下士官初任年月日

應召中ノ者ニ在リテハ總テ召集年月日

三 特殊勤務トシテ記載スベキモノ左ノ如シ

(イ) 現官職中潜水艦乗組、潜水隊附、潜水戰隊司令部附(潜水艦ノ魚雷發射關係業務ニ充當ノ者)及潜水艦艇裝具附タリシ者(期間一年未滿ノモノモ記載)

現官中一年以上教員ノ配置ニ在リタル者

搭乘整備員(「搭0-9」ノ如ク記載)

飛行特種ノ配置ニ在リタル者(「飛0-10」ノ如ク記載)

四 現官(職)中刑罰欄ニ記載スベキ處刑ハ上等下士官及兵長ニ在リテハ海軍出身以來ノモノヲ記載スルモノトス

五 任用進級所見欄ハ「最適」、「適」又ハ「稍適」ニ區分シ記載スルモノトス

六 現役滿期年月日及再現役望否欄ハ准士官ニ進級セシムベキ者及二等下士官ニ任用スベキ者ニ付記載シ當該進級期ニ於ケル現役滿期該當者ニ在リテハ再現役ノ許否ヲ記入スルモノトス

様式第二

(昭和十九年五月二十四日海軍公報(部内限) 號外)

姓名

昭和 年 月 日

所 轄 長 印

兵進級決定候補名簿

水兵長ニ進級セシムベキ者(現職進級後ノ者) 過日數六月ノ者(經) 定員 無章

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 序順定決 |
|--------------|--------------|------------|------------|--------------|-------------------------|
| " | " | " | " | 19-5-1 | 級進職現 日 月 年 |
| 0-4-0 | 0-4-0 | 0-4-0 | 0-4-0 | 0-4-0 | 數日務勤 |
| 98 | 98 | 99 | 99 | 100 | 點評務勤 |
| | | | | | 特技章(特 技兵講習) 及成績順位 |
| | | | | | 現職中ノ 賞、刑罰 |
| | | | | | 記 事 |
| | | | | | 共ノ上 級ニ進 級ノ可 否 |
| | | | | | 氏 名 |
| | | | | | 號番籍入 |
| 水志佐 18895 | 水徴佐 29567 | " 18659 | " 19538 | 水志佐 15867 | |

備考

左ハ區分ニ依リ各別細ニ詳載ス

各鎮守府別

(イ) 役種別(一般現役員、服役延期者(進級實施期日迄ニ服役ト爲ル者ヲ含ム)及應召員別トシ一般現役員以外ニハ「服役延期者」等ト朱書ス)

兵種職階別

(ハ) 定員(定員外配置中ノ者ヲ含ム)、補缺員、練習生(期別)、講習員(期別)別

(ホ) 兵長ニ進級セシムベキ者ニ在リテハ現職進級後次期進級期迄ノ經過日數一年以上ノ者、六月ノ者ニ區別シ六月ノ者ニ在リテハ更ニ特修兵、特技兵(特技兵ニ非ザルモノニシテ特選運貨船、魚雷艇、戰車又ハ電信術講習ヲ終了シタルモノヲ含ム)其ノ他(無章)ニ區別スルモノトス

人名記載ノ順序ハ決定候補順トス

三 現職中ノ賞ハ特別善行章ノ付與及善行表彰ニ付年月日及其ノ概要ヲ記入スルモノトス

四 現職中ノ刑、罰(上陸外止等ヲ含ム)ハ裁判確定又ハ言渡年月、犯行概要及處分事項ヲ記入スルモノトス但シ免除セラレタルモノハ(免)ト附記ノコト

五 記事欄ニハ特別配置(潜水艦乗組期間等ヲ様式第二備考第三號ニ準ジ記入ス)、特殊技能(特別短艇員柔道初段等)、現職中ノ入院期間(種痘病名附記)其ノ他必要ト認ムル事項ヲ記入スルコト

六 進級可否欄ハ進級セシムベキ者ニ在リテハ「○印」、進級セシムベカラザル者ニ在リテハ「×印」ヲ記入スルモノトス

様式第三

(昭和十九年五月二十四日海軍公報(部内限)號外)

件名

年 月 日 調

應 名

下士官及兵長(兵)任用進級拔擢(候補)名簿不登載者調

| 事 由 | 現官(職) | | 氏 名 | 入籍番號 |
|---------------------------------|-------|------------|-----|-------|
| | 任命年月 | 特技章 | | |
| 勤 務 成 績 不 良 (一九、一、八威信失墜禁足十日) | 18-5 | 高砲上曹 | 何 某 | 13056 |
| 任 用 不 望 | 17-5 | 水兵長 | 何 某 | 15030 |
| 父看護歸省二十日 | 18-5 | 普 罐 機兵長 | 何 某 | 10510 |
| 二種症入院(胸膜炎)四月七日 | 18-5 | 普 看 一衛曹 | 何 某 | 560 |
| 一九、一、五ヨリ行方不明中 | 16-11 | 普 整 二整曹 | 何 某 | 780 |

備考

一 本調書ハ兵長以上ト上等兵以下トニ區分シ更ニ現役員、服役延期者及應召員トニ分テ各別紙ニ調製スルモノトス

二 本調書ニハ拔擢(候補)名簿調製期ニ於テ任用進級停年ニ達スベキ經過年ヲ有スルモ除算事項ノ爲無資格ト爲ル者ヲモ記載スルモノトス

三 應召員ノ現官(職)年月欄ニハ除算セザル經過年(現官(職)へ任用進級後ノ現役期間及召集中ノ期間ヲ通算シタルモノ)ヲ記載ス但シ召集後任用進級シタル者ハ現役員ノ例ニ依ル

様式第四

件名

昭和 年 月 日

(昭和十九年五月二十四日海軍公報(部内限)號外)

所轄 長 殿

兵進級ニ關スル件通知

所 轄 長 印

左記ノ者ハ今期末艦(隊、團)ニ於テ兵進級決定候補名簿登載済ニ付進級期日ニ於テ各頭書(○印ハ進級セシムベキ者×印ハ進級セシムベカラザル者)ノ通處理相成度

| 轉出月日 | 其ノ上級ニ進級可否 | 現 職 | 特技章 | 氏 名 | 入 籍 番 號 |
|------|-----------|-----|-----|-----|-------------|
| 三一二六 | ○ | 上 水 | 普 砲 | 何 | 某 横志水 四四三七五 |
| 同 | × | 上 機 | | 何 | 某 横徵機 四一二六三 |

備考

其ノ上級ニ進級可否欄ハ進級セシムベキ者ニ在リテハ「○印」、進級セシムベカラザル者ニ在リテハ「×印」ヲ記入スルモノトス

2190

海軍公報

(部内限) 第四千六百九十八號

昭和十九年五月二十五日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房備機密第三〇三號

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通告正ス

昭和十九年五月二十三日

海軍大臣

内令提
要登載

表申第二十八海軍軍用郵便所ノ項職員ノ欄「所員」

任一人奏任
十四人判任
九人雇員」ヲ「所員」專任十五人判任
九人雇員」ニ、

第三十海軍軍用郵便所ノ項職員ノ欄「所員」專任
十三人判任
四人雇員」ヲ「所員」專任十四人判任
四人雇員」ニ改ム

(参照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ヲ
リ(内令提要卷一、六四ノ九頁)

○通 牒

軍需機密第一六六號

昭和十九年五月二十四日

海軍省軍需局長
海軍省經理局長

關係各廳長殿

戰地ニ於テ海軍ノ工事又ハ運輸作業等ニ
從事スル請負人ニ對スル糧食品ノ供給及
整理ニ關スル件中改正ノ件通牒

昭和十七年軍需機密第一九五號中左ノ通告正致候
記

第二號中

(一) 中「供給元ハ消耗拂」ヲ「供給元」(ニ) 該營艦船部
隊ヲ含ム) ハ供給拂」ニ改メ(ニ) フ(ホ) トシ以下順次繰
下ゲ(ハ) ノ次ニ左ノ如ク加フ

(ニ) 供給元必要アル場合ハ其ノ工事又ハ作業地最
寄ノ艦船部隊ト協議ノ上當該艦船部隊ヲシテ之
ヲ供給セシムルコトヲ得

艦船部隊前項ニ依リ供給シタルトキハ其ノ品名

海軍公報(部内限) 第四千六百九十八號

昭和十九年五月二十五日

七六九

2191

數量ヲ供給元ニ通知スルモノトス

(参照) 海軍機密會計法規類集一三〇ノ五二頁

軍需機密糧第一六七號

昭和十九年五月二十四日

海軍省軍需局長
海軍省經理局長

關係各廳長殿

戰地ニ於テ海軍ノ工事又ハ運輸作業等ニ
從事スル請負人ニ供給ノ糧食品ニ關スル
件照會

昭和十七年軍需機密糧第一九五號通牒首題糧食品ニ關
シテハ供給ニ對スル査定竝ニ供給後ノ整理監督ニ付夫
々規定シアル處從來之ガ勵行不充分ノ爲現品使用振放
慢ニ流レ不都合ヲ生ジタル例モ有之候條供給竝ニ拂出
ニ當リテハ嚴重ニ査定、監督ノ勵行方特ニ留意相成度

(参照) 海軍機密會計法規類集一三〇ノ五二頁

艦本機密第一號ノ七五九九

昭和十九年五月二十四日

海軍艦政本部總務部長

横須賀、吳
佐世保、舞鶴
鎮守府參謀長殿

小銃狹窄實包射擊上ノ注意ニ關スル件
照會

最近首題射擊ニ於テ狹窄彈ノ彈片鐵板的ニテ反跳シ射
手ノ眼ニ入り重傷セシメタル事故有之自今此種危險防
止ニ關シ留意セシメラレ度尙差當リ左ノ對策ハ有効ト
認メ候

- 一、鐵板的ノ代リニ木板的ヲ使用スルコト
- 彈片止メトシテ鐵板ヲ用フル場合ハ之ヲ木板的ノ後
方ニ置キ中間ニ土砂ヲ堆積ス
- 二、射距離ヲ十米以上トスルコト
- 三、破損セル鐵板的ハ使用セザルコト

○ 辭 令

(各通)

第百二海軍經理
部附海軍書記 栗原 富雄

第百四海軍經理部附ヲ命ス(五ノ海軍省)

同 江間 義二
海軍中佐 板垣 金信

靖國神社祭典掛ヲ命ス

御府獻納品銓衡委員會委員ヲ命ス

海軍統制研究調查委員會委員ヲ命ス

靖國神社合祀審査委員會委員ヲ命ス

恩賜研學資金受賞者銓衡常置委員ヲ命ス
海軍中佐 松本 作次

(各通)

第四海軍施設 大川 寛

第四海軍書記 西原 敏行

第四海軍施設 部附海軍技手 原田 清

第二百十六設營隊附ヲ命ス

第四南道艦隊司令部附海軍書記

吉野 精一

第四海軍軍需部附ヲ命ス(以上三十三名同)

海軍大佐 大石 新一

高等軍法會議判士ヲ免ス
東京軍法會議判士ヲ免ス

海軍中佐 淺野 以文

海軍武官任用委員ヲ命ス
海軍武功調査委員ヲ命ス

支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス
海軍豫備學生採用試験委員ヲ命ス(五十七名同)

海軍主計中尉 福田 陽一

第二百二海軍經理部マカツサル支部國防獻金、恤兵金、
學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

海軍書記 水島 正樹
同右分任出納官吏ヲ免ス(以上三十四名海軍省經理局長)

天津在勤海軍武官府、國防獻金、恤兵金、學藝技術
獎勵金分任出納官吏ヲ命ス
海軍大佐 田尻 穰

同右分任出納官吏ヲ免ス(以上七名同)
同 遠藤 實

○ 雜 款

○ 速達郵便料金ニ關スル件
當隊宛速達郵便物ハ特別料金地域内(三月七日海軍公
揭載)ナル處普通料金貼付ノ爲不足料金支拂毎月相當
ノ額ニ上リ事務處理上支障有之候條必ズ特別地域料金
貼付相成度
(神ノ池海軍航空隊)

○ 輸送品到着驛ニ關スル件
當廠兵器部宛ノ發送品ヲ從來往々大村又ハ竹松驛宛送
付ノ向有之候處當廠兵器部ノ所在地ハ左記ノ通ナルヲ
以テ輸送ニ時日手數ヲ要スルノミナラズ調査上ニモ支
障多キニ付自今同部宛ノ發送品ハ佐世保驛宛送付ノコ
トニ御取計ヲ得度

海軍公報(部内限) 第四千六百九十八號

昭和十九年五月二十五日

七七一

海軍公報(部内限)第四千六百九十八號

昭和十九年五月二十五日

七七二

記

長崎縣佐世保市崎邊第二十一海軍航空廠兵器部

(第二十一海軍航空廠)

海軍中尉從七位氏家和雄五月七日飛行訓練中遭難
殉職五月十二日第三六一海軍航空隊ニ於テ佛式ニ
依リ海軍葬儀執行セリ

○本日普通公報發行セズ

2194

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十九年五月二十五日(木)
海軍大臣官房

○ 辭令

| | | | |
|-------------------------------------|-----------|---------------------------------|-------|
| 千八百貳拾圓 | 曾重慶 | 務ヲ囑託ス(報酬如故) | 荒、田 巖 |
| 千八百貳拾圓 | 蔡成榮 | 第一南遣艦隊業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上三〇〇同) | 留川 四郎 |
| 千六百五拾圓 | 林 躍 | セブ在勤海軍武官室事務ヲ囑託ス | |
| 千四百七拾圓 | 岡村 豊 | 但シ報酬年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(三〇〇同) | 味岡 馨 |
| 千六百五拾圓 | 許清修 | マニラ海軍運輸部事務囑託ヲ解ク(三〇〇同) | 山東圓次郎 |
| 千四百七拾圓 | 曾麗名 | 南西方面海軍民政務事務囑託ヲ解ク(三〇〇同) | 影山 桓虎 |
| 第八海軍建設部醫療業務ヲ囑託ス | | 南西方面艦隊業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(三〇〇同) | 今枝 外二 |
| 但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(報酬如故海軍省) | | 海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金貳百圓ヲ贈與ス | |
| (各通) | 鐵道官 齋藤 秀雄 | 海軍省事務囑託ヲ解ク(三〇〇同) | |
| | 同 福島 善清 | | |
| | 同 藤井松太郎 | | |
| 海軍省事務囑託ヲ解ク(報酬如故) | 麻上 晋靜 | | |
| (各通) | 加藤 守 | | |
| ニューギニア民政務事務囑託ヲ解キ第四南遣艦隊事務ヲ囑託ス | | | |

(部内限)

海軍公報 (部内限) 號外

南東方面艦隊醫療業務囑託ヲ解キ横須賀海軍軍需部
醫療業務ヲ囑託ス(報酬如故)(三十五ヵ月同)

(各通)

高 耀 蒼
市川 威
清瀬 一夫

第一南遣艦隊事務囑託ヲ解ク

岡田 千里

海軍技術研究所研究業務囑託ヲ解ク(以上三十五ヵ月同)

中村 俊吉

第三百三海軍軍需部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇ト
ス

門屋 守二

第三百三海軍軍需部業務囑託ヲ解ク

山本 作松

(各通)

木村 卸介

セブ在勤海軍武官室業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇
トス

深見 榮一

第四海軍工作部業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇
トス

(各通)

高雄警備府業務囑託ヲ解キ第六海軍燃料廠業務ヲ囑
託ス(待遇如故)

荒木 抽三
泉 量一
田村 周助
西川 甚太

(各通)

石川 繁一
岡屋 隆史
井上 太郎
下八川 進

大坪 龍一

谷本 利一

阿野 養徳

高雄警備府業務囑託ヲ解キ第六海軍燃料廠業務ヲ囑
託ス(待遇如故)(以上三十五ヵ月同)

井上 英敏

第三百一海軍燃料廠事務囑託ヲ解ク(三十五ヵ月同)

仙波 鉄三

片寄 秀士

第三百三海軍軍需部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇ト
ス

塩原 副

第二南遣艦隊事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
(以上^{十四日}同)

第五三海軍航空隊齒科治療業務囑託

辛嶋 善次

築城海軍航空隊齒科治療業務ヲ囑託ス(十四日同)

原 種道

上海方面根據地隊事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

八谷 徳三郎

支那方面艦隊事務囑託ノ報酬トシテ金貳百四拾圓ヲ贈與ス

支那方面艦隊事務囑託ヲ解ク(以上^{十四日}同)

高橋 茂登吉

横須賀海軍工廠海軍共濟組合醫療業務囑託ヲ解ク

小澤 武雄

海軍省南方政務部事務囑託ヲ解ク

洞田 直三郎

豊川海軍工廠海軍共濟組合事務囑託ヲ解ク

元遞信技師 小原 清司

海軍航空本部業務囑託ヲ解ク

鈴木 敏

第一海軍航空廠海軍共濟組合醫療業務囑託ヲ解ク

海軍施設本部補給部醫療業務囑託ヲ解ク(以上^{十四日}同)

堀 越 恒

第八海軍建設部事務囑託ヲ解キ海軍省南方政務部事務ヲ囑託ス(報酬如故)

務ヲ囑託ス(報酬如故)

柿谷 信夫

第八海軍建設部事務囑託ヲ解ク

窪田 勇

特設海軍燃料廠補給部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上^{十四日}同)

(各通)

都留 末信

海軍省醫務局醫療業務囑託ヲ解キ第二南遣艦隊醫療業務ヲ囑託ス(報酬如故)(八日同)

林 博

杉浦 保正

第二海軍燃料廠業務囑託ヲ解ク(十四日同)

江崎 平八

東京帝國大學教授 我妻 榮

田中 耕太郎

同

海軍省調査課事務ヲ囑託ス

石井 照久

武井 大助

海軍省事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス

名古屋帝國大學教授 勝沼 精藏

第一海軍衣糧廠研究業務ヲ囑託シ報酬年額參百圓ヲ贈與ス

臺灣總督府港務局書記官 古川 泰治

海軍省事務ヲ囑託ス

水田 末三郎

横須賀海軍軍需部業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

西嶋 濱雄

武藤 勇

安永 徳隆

海軍省業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

横山 芳雄

小竹 雄喜

花岡 武雄

宮城 敏彦

(各通)

(各通)

四

海軍省業務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス

山戸 數男

陳 天錫

唐澤 亥三郎

森下 悅郎

佐伯 信次

關谷 泰平

持田 敏郎

杉 喬

芹澤 末敏

片寄 清

小栗 憲一

古久根 三津信

角 久吾

有川 金藏

佐藤 美代子

黒江 利子

田丸 富榮

齋藤 喜代子

保田 光子

今野 テツ

(各通)

海軍省業務ヲ囑託ス
 塔尾 強

海軍航空本部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
 山本 善次

海軍艦政本部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
 新田 宗雄

海軍航空本部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
 萱島 丈夫
 原田 信夫
 櫻内 乾雄
 森元 繁美
 洲崎 喜四郎
 頼經 一雄

長官府業務囑託シ部内限奏任官待遇トス
 崎長 喜郎
 田島 重一
 平田 隆輔
 岩崎 剛平
 神吉 那次

海軍省業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
 藤本 治
 近藤 勇次郎
 辻 秀男

奥鎮守府業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
 安藤 昌三
 中村 靜雄
 菊池 宏
 田波 芳三
 小山 隆
 河本 勝壽
 鳥居 惟精

佐世保鎮守府業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
 月本 直
 大西 文太
 西 泰藏
 小林 誠之助

(各通)

舞鶴鎮守府業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 江畑 和雄

高座海軍工廠工員養成所教務囑託

千貳拾圓 佐川 祐麿

(各通)

同 七百貳拾圓 長沢 才助

自今報酬年額 (各頭書ノ通) ヲ給ス

小岩 正男

海軍施設本部補給部業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

臺灣總督府工業研究所技師 倉岡 圭二郎

高雄警備府研究業務ヲ囑託ス 関口 鯉吉

百五拾圓 東京帝國大學教授 落合 麒一郎

百五拾圓 同 久保田 廣

參百圓 東京帝國大學助教授 今堀 克己

參百圓 北海道帝國大學教授 上田 良二

(各通) 貳百圓 名古屋帝國大學助教授 星野 體

百圓 東京工業大學助教授

貳百五拾圓 東京天文臺技師 廣瀬 秀雄
海軍技術研究所研究業務ヲ囑託シ報酬年額 (各頭書ノ通) ヲ贈與ス

小高 古作

海軍艦政本部總務部事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

林 信夫

多賀城海軍工廠工員養成所教務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

鎮海海軍運輸部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 津守 慎一

大阪海軍經理部事務ヲ囑託ス 濃添 成造

但シ報酬年額千五百六拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

津地方海軍人事部軍事普及事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 小林 清榮

(各通) 山田 孝一郎

第三海軍火藥廠工員養成所教務ヲ囑託ス 四方 隣十郎

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(各通)

酒井和太郎
玉置恪三
堀 匡一
村山元三
小林一二三
松浦 徹
桑原慶人
古川林三郎
田中幸七
藤田松太郎
二宮三郎
稲田 只夫
宮川 一夫
長井文雄
西口義數
河野通文
磯崎 忠

吳海軍病院醫療業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
名古屋帝國大學教授 中村 龍輔
相模海軍工廠化學實驗部業務ヲ囑託ス

(各通)

廣瀬 研之
渡邊 清一
小川 篁
淺山 亮二
柳 節陽
四宮 安平
南保 吉郎
馬場 武夫
川越 又六
岩瀬 清
遠藤 虎之助
松村 幹克
永森 慎二郎
松田 芳彰
乾 俊郎
三谷 數馬
小早川 守

吳海軍病院醫療業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
海軍潜水學校事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
多田羅義雄
今井 浩三

海軍公報 (部内限) 號外

七

川野 正善
吳海軍軍需部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

村上 文雄

海軍氣象部事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

德永友右衛門

渡邊 計雄

藤原 貫二

吳海軍人事部事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

飯道 國三

吳海軍病院事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

橋本 浦助

國定 唯平

吳海軍經理部事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

竹内 正治

横須賀海軍工廠事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

中村 千尋

豊川海軍工廠海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

平野 四郎
海軍航空技術廠航空醫學部研究業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額五百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

高座海軍工廠海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

石野 信安

高座海軍工廠海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

瀧 豐

豊川海軍工廠海軍共濟組合事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

細田 政次

四百圓

參百圓

參百圓

參百圓

貳百圓

海軍技術研究所研究業務ヲ囑託ス

溝上 銚

宮部 宏

田邊 義敏

横山 鐵己

高島 義雄

高須 五十雄

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

多田 淳典

海軍航空技術廠支廠總務部業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

横木 健次

神戸地方海軍人事部軍事普及事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

小松島海軍航空隊齒科治療業務囑託

板東 貢

自今報酬年額千貳拾圓ヲ給ス

加藤 又一

海軍技術研究所研究業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

黒岩 善吉

高座海軍工廠業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

白岩 清二

大湊警備府事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

氣象技師 佃 十吉

北東方面艦隊氣象事務ヲ囑託ス

梅村 晴香

海軍航空技術廠海軍共濟組合醫療業務囑託ヲ解キ多賀城海軍工廠海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス(報酬如故)

佐藤 良邦

海軍省軍務局事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百八拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

片岡 士郎

第二海軍燃料廠業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

武部 伴吉

舞鶴海軍施設部醫療業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

舞鶴海軍工廠機關實驗部囑託

岡田 實

自今報酬年額千貳拾圓ヲ贈與ス

海軍技術研究所研究業務兼吳海軍工廠
業務囑託

兼吳海軍工廠業務囑託ヲ解ク

加藤 安太郎

吳海軍工廠電氣部業務囑託ヲ解ク

渡邊 幸太郎

マカツサル研究所研究業務ヲ囑託ス

佐藤 隆平

但シ報酬年額千四百七拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス

舞鶴海軍工廠海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス

八木 笹子

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス

櫻井 季

高座海軍工廠業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス

石原 信行

豊川海軍工廠海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百貳拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス

宮田 誠道

高座海軍工廠工具養成所教務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參百五拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス

入戸野富士雄

高座海軍工廠醫務部醫療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百貳拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス

小森 久

吳海軍施設部土木業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス

公立中等學校教諭 菊地 理學

霞ヶ浦海軍病院傷痍軍人職業準備教育事務ヲ囑託シ
報酬年額參百參拾六圓ヲ贈與ス(以上^{五五〇}同)